

令和4年度 前期学校関係者評価書

南アルプス市立大明小学校

第1回 学校関係者評価委員会【書面開催】

1 実施日 令和4年9月2日（金） 書面提案

2 評価者 学校関係者評価委員
石川 正人（委員長）
長田 良子
市川 和男
市川 政子
高野 晃史
山本 幸希
平井 ひとみ
学校職員
三井 保（校長）
横澤 敏英（教頭）
小泉 昭市（教務主任）

3 学校から提案された内容（書面）

- ①保護者アンケート（教頭）
- ②教職員による自己評価（教務主任）
- ③児童アンケート（教務主任）

4 学校から書面提案した3つのアンケートに対する「意見・感想」など

（1）保護者アンケート結果

- ①コロナ禍は当分続いていくことと思います。今までの常識は全く通用しなくなった中、新たな発想で、また若い世代の柔軟な考えなども取り入れながら、制限ある中でのコミュニケーションの方策を工夫していただけることを期待します。
- ②大明小の教育活動全般について、非常に多くの保護者の皆様が肯定的に受け止め、厚い信頼を寄せていることがよくわかりました。また、保護者からの個別の意見として出された少数の意見に対しても、決しておざなりにせず、大切に受け止め、対応できるものは素早く対応し、よりよい方向へと改善していこうとする先生方の真摯な姿勢が見て取れ、たいへんありがたく読ませていただきました。
携帯電話に関するトラブルが大明小の児童の中で中でも見られるとのこと。時代とは言え、ネットでのいじめなどこれから益々トラブルが増えてくるのではないかと本当に気がかりに思っています。ぜひ、今後とも子どもたちの健全な成長のため、家庭への呼びかけや児童・保護者へ向けた啓発のための活動等も続けていっていただきたいと思います。
あいさつについては、私どもも地域住民の一人として、これからも積極的に子どもたちへの声かけをしていきたいと思えます。
- ③保護者からの意見が多数寄せられ、素晴らしいことだと思います。それぞれについての考察を読みますと、学校側の対処が詳細に記述されており、意見を発信していただいた保護者も一層学校への信頼度を増すことができると考えます。
- ④保護者の立場からすると、学校の様子が分からないということが一番不安につながると思います。コロナ禍で学校にも行く機会も少なくなっていると思うので、今後も学校、家庭、地域との連携、共通理解、コミュニケーションをとることをよろしくお願いします。
- ⑤各項目にCまたはDの回答が必ず見受けられる。施設的な項目では、時間と予算がともなうので今すぐに改善できないと考えられるが、そうでない項目では、計画を立て改善できるような体制をとられるよう要望する。
- ⑥いつものアンケートより、保護者からのコメントがたくさんあっていろいろな意見が聞けてよかったです。やはり、今の現状でも前へ進みたい方が多いんだなあと感じました。

⑦保護者は個々に考え方が違う感じがグラフにしっかり表れたと思います。学校もすぐに対応などしてくれているようで安心しました。

(2) 教職員による自己評価

①教職員の具体的な悩みや苦悩を把握し、教職員が大切にされる環境を作っていくことが、質の高い教育活動を維持していくためにも、現在もっとも必要なことだと思います。

②コロナ禍の中、教育活動にも様々な制約があり、教職員皆様方の御苦勞はいかばかりかと推察申し上げます。しかし、そのような状況の中でも、大明小の全ての教職員の皆様方が、それぞれのお立場お立場で、学校教育目標の具現化のため日々奮闘努力されている様子をこのアンケート結果から見て取ることができ、本当に頭の下がる思いです。

まだまだ先の見えないこのコロナの状況の中、子どもたちの健やかな成長のためには、まず、教職員皆様方の心や体の健康があってこそと思います。おそらく毎日、息つく暇もないほど忙しい日々を過ごされているのではないかと推察いたします。皆様健康にはくれぐれも留意され、子どもたちのよりよい成長のため、今後とも頑張っていっていただきたいと願っております。

③コロナ禍の中、教育現場の大変さを知ることができました。創意工夫しながら、日々指導されていること敬意を申し上げます。

④学校生活における先生方の指導が、挙げればきりがなく多岐にわたっていることが、あらためて分かります。ありがとうございます。少しでもゆとりをもって指導にあたっていたらいいように、働き方の工夫ができるとよいと思います。(難しいことですが)

⑤この項目では総じてA、またはBの項目に落ち着いている。もちろん努力して続けられることを望みますが、今回起きた静岡県牧之原の保育園のような事件が起きないように改めて検証されることをお願いします。順調にしている時こそ、落とし穴があると考えべきだと思います。

⑥先生方には本当に毎日子どもたちのためによい環境を作ってください、感謝しております。先生方も一個人としての意見が自由に言えたり、公務員だからというしづりが無くなれば、もっとよい教育現場になると思います。国から変えないと・・・。

⑦子どもたちのために、分かりやすい授業や個人に合わせて対応しているように思えます。コロナ禍でいろいろな事が軽減される中、しっかり子どもたちと保護者と向き合ってくれていると思います。

(3) 児童アンケート結果

①子どもたちのため地域のためと肩肘張ることなく、先生方が少しでも楽になり、自己有用感を感じながら活動できる学校環境を作ってください。そうなることが、回り回って、本当に子どもたちと地域のためになっていくと考えます。

②非常に多くの子どもたちが学校を楽しんでいると感じ、教科の学習活動にも教科以外の日々の活動にも生き生きと積極的に取り組んでいることがよく分かりました。

特に5・6年生は学校のリーダーとしてしっかり学び、しっかり活動している様子が見て取れ、頼もしさを感じました。コロナの状況にもよりますが、2学期は、運動会や文化発表会など様々な行事が予定されていることと思います。それらの活動を通して、より素晴らしい大明小のリーダーとなっていきますよう期待しております。

また、どの学年も、自分の悩みを相談する誰かが必ずいると答えた児童が非常に多く、「学校が楽しい」「勉強がわかる」「そうじができる」等のアンケートに肯定的な回答が大変多いという結果が領けます。特に「父母」に相談すると答えた児童の割合が最も高いとのこと。家庭でも学校でも、大明小の子どもたちが健やかに成長できていることの現れかと感じました。

6年生になると、携帯電話(スマホ)を持っている児童の割合がグンと増えてくるのには、驚きました。家庭とも連携しながら正しい使い方の指導を今後ともよろしくお願い致します。

③自分のスマホを持っている子どもが6年生だと50%とはビックリです。犯罪に巻き込まれないよう、よほどしっかり保護者が目を光らせないといけないと思いました。

④学校が楽しいと回答している割合が多く安心しました。ただ、その中でも不登校の子どもたちもいるのでしょうか。コロナに感染してしまい、10日間も休むことになると、その期間の学習も親も子も心配になると思います。そういう子どもたちが複数いると対応するのも大

変だと思いますが、現状はどうなのでしょう。

- ⑤学年で言えば中間あたりの学年に否定的な回答が見受けられる気がする。(グラフでは黄色緑色) 1年生ではまだ楽しい盛りでよくわからないまま、少しわかるようになった中間学年で問題が生じているように感じる、改善できると5・6年でよくなっていくみたいだが、反対にここでよくならないで上がってしまう(学年が)と大変になるので、中間学年に早急な改善を行うことを取り入れるとよいのではと感じます。
- ⑥学校へ行きたくないという意見が年々増えているような……。私の家庭でもそんな話を子どもたちと話し合いましたことがあります。今の状況だと、心に負担が大きいのでしょうか。
- ⑦学校生活がとても充実しているようで安心しました。友だち関係、先生との関係も学年ごとに違いはありますが、困った時に相談する人がいる事が多くの児童が答えててよかったです。

令和4年度 学校評価委員会は、書面提案をもって、開催にかえます。いただいた御意見・感想につきましては、ほぼ原文のまま載せさせていただきました。貴重な御意見、ありがとうございました。

令和4年9月
評価書作成責任者

関係者評価委員会委員長
事務局 学校職員

石川 正人
横澤 敏英